

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科/プロダクトデザイン専攻											
デザイン実習 1A											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	加賀 武見			実務 経験	有	職種	デザイナー				
授業概要											
この科目を受講する学生は、プロダクトデザインのスケッチの技術を修得します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つスケッチの知識と技術を学び、スケッチ用具の正しい使い方とパースの理解とスケッチの方法を身につけるようになります。プロダクトデザインの「デッサン力」に関連する知識と表現を理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、アイデアスケッチと提案模型製作が実践することができるようになるのがねらいである。											
到達目標											
学生が、プロダクトデザインのスケッチを学び、図形・パース・作例・実例のカテゴリーからプロダクトデザインのスケッチを理解して、社会で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的にパースの概念、スケッチの種類、スケッチ用具の使い方を理解して、パース、スケッチ、透視図、アクソメ、提案模型製作ができるようになることを目標にしている。											
授業方法											
授業では、教科書の内容に沿って、講師からの解説を受けます。スケッチ用道具の使い方、線の種類、透視図法と立方体と多面体、シンプルな形の商品のスケッチ、トレースと段階的に技量を向上させる授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「プロダクトデザインのスケッチ力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「プロダクトデザインスケッチ力」を自分自身の実践し、活用できるようになることを目指す。											
成績評価方法											
プレゼン	30%	制作物の発表方法、内容について評価する									
課題完成度	50%	提出課題完成度を総合的に評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
基礎を習得した学生にスケッチでの表現から、プロダクトデザインに触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。スケッチの仕方、表現を知り、今後、現場で求められるレンダリングスケッチの修得に推移を考えた中段階の実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
教科書教材											
教科書：プロダクトデザインのためのスケッチワーク											
回数	授業計画										
第1回	透視図法の理解 / 立方体のスケッチする										
第2回	透視図法の理解 / 3つの立方体のスケッチする										
第3回	透視図法の理解 / 立方体から椅子をスケッチする										
第4回	透視図法の理解 / 立方体から椅子をスケッチする										
第5回	シンプルな形 / ペン差しをスケッチする										
第6回	シンプルな形 / 収納シェルフをスケッチする										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科/プロダクトデザイン専攻	
デザイン実習 1A	
第7回	シンプルな形 模型制作 / 収納シェルフの見本模型を制作する
第8回	シンプルな形 / コートハンガーのスケッチから、オリジナルのアイデアスケッチをする
第9回	シンプルな形 模型制作 / コートハンガーのオリジナル模型を制作する
第10回	シンプルな形 / ブロックソファのスケッチから、オリジナルのアイデアスケッチをする
第11回	シンプルな形 模型制作 / ブロックソファのオリジナル模型を制作する
第12回	シンプルな形 / 調味料入れをスケッチのスケッチから、オリジナルのアイデアスケッチをする
第13回	シンプルな形 模型制作 / 調味料入れのオリジナル模型を制作する
第14回	発表の準備 / 提出する3つのオリジナルのスケッチと模型の準備を整え、チェックを受ける
第15回	全て提出発表 / 全体のまとめ